



加古だより

加古小学校通信
令和5年12月号
No.31 (347号)

「地域の力、保幼小の連携」たくさんの学び

校長 吉田 博明

<稲美町の疏水について教えてもらいました>

今でこそ「稲美町」の名前の通り、お米がたくさん採れて稲が実る美しい町ですが、昔は大きな川もなく、水が無くとても苦労した土地でした。稲美町の昔の人々は知恵と勇気と力を尽くして、神戸から水を引いてくることに成功しました。そのおかげで、たくさんのため池と田んぼの美しい風景の「稲美町」になりました。稲美町の4年生では、地域学習として、「疏水（大量の水を水田へ送るため、川から水路を引き、水を分け合うこと）」について学びます。昨年度から、コミスクのボランティアの、高田さんにお話をしてもらっています。加古地区の詳しい歴史について、なかなか知ることができないお話を学ぶことができました。ありがとうございました。



<そろばんも教えてもらいました！>

算数の3年生、4年生では、「そろばん」の学習があります。毎年、地域のボランティアの方に教えてもらっています。今年度は、池田さん、大西さん、福本さんの、3人の先生方に教えてもらいました。初めてそろばんを触る人もいて、最初はなかなか難しかったようですが、最後はどんどん面白くなってきた様子。先週と今週の2回だけでしたが、そろばんを習っている人がミニティーチャーになって教えてくれたりして、楽しい時間になりました。教えていただいて、ありがとうございました！



<近くのメリット！保幼小の連携！>

昨日、加古保育園と加古幼稚園のお友だちが、業間から3時間目の1年生の体育の時間まで交流に来てくれました。今年度から、何回か加古幼稚園のみなさんが、業間に遊びに来てくれていました。それなら、加古保育園のお友だちもぜひ！、ということで、保育園、幼稚園のお友だちが来てくれました。業間は、小学生に交じって鬼ごっこをしたり遊具で遊んだり。ケガをしないように上手に遊びました。続く3時間目は、1年生の人たちに幼稚園や保育園の人たちから質問コーナー。1年生への不安もなくなったかな？その後、運動場で、みんなで縄跳びの練習をしました。保幼小の連携の大切さが言われています。スムーズな1年生への接続に向けて、いろんな楽しい交流を続けていこうと思います！

